

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年2月20日(2014.2.20)

【公表番号】特表2010-512184(P2010-512184A)

【公表日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【年通号数】公開・登録公報2010-016

【出願番号】特願2009-540482(P2009-540482)

【国際特許分類】

A 61 F 2/24 (2006.01)

A 61 M 25/00 (2006.01)

A 61 M 25/10 (2013.01)

【F I】

A 61 F	2/24	
A 61 M	25/00	3 0 9 Z
A 61 M	25/00	4 1 0 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年12月26日(2013.12.26)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カテーテル本体、該カテーテル本体の遠位末端に取り付けられた保持構造、および該カテーテル本体の遠位末端に接触するように構成された拘束用シースを含む送達用カテーテル；ならびに、該拘束用シースの中へ折り畳み可能で、拡張可能な心臓弁の流出末端で該送達用カテーテルの保持構造に保持された拡張可能な心臓弁を含む、心臓弁置換システムであって、

該拘束用シースが、該拡張可能な心臓弁を拘束する近位の閉じた位置と、該拡張可能な心臓弁の少なくとも一部を露出する遠位の露出した位置との間を動くよう構成されており、

該拘束用シースが、該近位の閉じた位置と該遠位の露出した位置との間を移動できるよう、該保持構造が、該拡張可能な心臓弁の近位の縦方向の移動に抵抗するよう構成されており、

該保持構造が、遠位側および近位側にそれぞれ複数設けられた突出部を含む、心臓弁置換システム。

【請求項2】

拘束用シースの近位にある送達用カテーテル上に先細り型の部品をさらに含む、請求項1に記載の心臓弁置換システム。

【請求項3】

拘束用シースが、保持構造を露出する開放位置へ動くよう構成されている、請求項1に記載の心臓弁置換システム。

【請求項4】

拘束用シースの遠位にある送達用カテーテル上に先細り型の部品をさらに含む、請求項1に記載の心臓弁置換システム。

【請求項5】

細長い本体；

その周りに補綴物を取り付けることができる部品を有する遠位部分；

近位末端を有し、使用時、シースの近位末端の移動によって、補綴物取り付け部品中に入れられている補綴物を露出するように、補綴物取り付け部品を実質的に覆う位置から補綴物取り付け部品の覆いを実質的にとる位置まで、遠位方向に補綴物取り付け部品上で動かすことができる、シース；および

該シースが、実質的に補綴物を覆う位置および実施的に補綴物を覆わない位置の間を動くように、補綴物の近位の縦方向の移動に抵抗するよう構成されている、保持構造であって、該保持構造が、遠位側および近位側にそれぞれ複数設けられた突出部を含む、保持構造

を含む、自己拡張可能な補綴物を送達するためのカテーテル。

【請求項 6】

遠位部分が、補綴物取り付け部品を形成するため、小さな断面の領域を含む、請求項 5 に記載のカテーテル。

【請求項 7】

補綴物取り付け部品が近位末端を含み、カテーテルがさらに、使用時、該カテーテルが拡張した補綴物を通し、引っ張り出されるとき、シースの近位末端と拡張した補綴物との間の衝突を最小にするため、シースの近位末端と協働するように構成された取り付け部品の近位末端に隣接する突出部を含む、請求項 6 に記載のカテーテル。

【請求項 8】

突出物が、取り付け部品の断面より大きい断面積を含み、突出物の断面が、シースの近位末端の断面に近づくようにカテーテルの周囲に延びる、請求項 7 に記載のカテーテル。

【請求項 9】

突出物が、補綴物取り付け部品の付近から、カテーテルの外表面に向かって延びる傾斜のある表面によって延びる、請求項 8 に記載のカテーテル。

【請求項 10】

遠位の先端をさらに含み、該先端がシースと一体化して形成される、請求項 5 に記載のカテーテル。

【請求項 11】

カテーテルの縦軸に沿って延びるガイドワイヤーの内腔をさらに含む、請求項 5 に記載のカテーテル。

【請求項 12】

自己拡張可能な補綴物；および

補綴物を送達するためのカテーテルを含むキットであって、該カテーテルは、細長い本体；

その周りに補綴物を取り付けることができる部品を有する遠位部分；

近位末端を有し、使用時、シースの近位末端の移動によって、補綴物取り付け部品中に入れられている補綴物を露出するように、補綴物取り付け部品を実質的に覆う位置から補綴物取り付け部品の覆いを実質的にとる位置まで、遠位方向に該補綴物取り付け部品上で動かすことができる、シース；および

該シースが、実質的に補綴物を覆う位置および実施的に補綴物を覆わない位置の間を動くように、近位の縦方向の移動に抵抗するよう構成されている、保持構造であって、該保持構造が、遠位側および近位側にそれぞれ複数設けられた突出部を含む、保持構造

を含む、キット。

【請求項 13】

補綴物が心臓弁である、請求項 12 に記載のキット。

【請求項 14】

ガイドワイヤーをさらに含む、請求項 13 に記載のキット。